

かわにし

議会だより

第141号
2020
4.15



想いをつなぐ

聖火ランナーに

P26に関連記事



川西町議会H.P
QRコード

地域に貢献 女性消防団	2
町民参画で町を変える	6
2年度予算 大型プロジェクトが進む	8
9議員が新型コロナウイルス対策など町政をたず	16
議会だより 10年連続入賞	32

シリーズ
広聴
町が大好き
4

家庭や仕事と両立 地域に貢献！

— 町の安全・安心を守る — 女性消防団の皆さん

国と地方が対等であるとした地方分権改革が進み、地方自治体の首長、議会は住民の意見を十分に聞き、政策に反映させることが求められている。

議会では議会基本条例の定めにより、毎年各地区に出向き、住民との意見交換会を実施し、それらの意見を踏まえて、町長に対して政策提言を行っている。

議会ではさらに、各種団体等との意見交換にも取り組んできた。今回は、「シリーズ広聴町が大好き」第4弾として川西町女性消防団の皆さんに登場して頂いた。



明るい笑顔の町であってほしいから



本間アキ子 さん
上小松 団員歴18年

現在、全国で約2万人の女性消防団員が活躍している。消火活動や後方支援などの活動もあるが、住宅用の火災報知器の

普及促進や一人暮らしの高齢者宅の訪問、地域の防災教育や応急手当の普及指導で特に活躍されている。

— 現在どのような活動をされているかお聞かせください。

本間 各地区分団活動年は全国操法大会出場の練習にかりつきりでしたが、今年度は月一回の定例会を開き親睦を深めながら、女性ならではの活動を進めていこうと思います。ただ団員不足がネックになっています。

川西町女性消防団と 川西町議会広聴広報常任委員会との意見交換会 出席者名簿

女性消防団	部長 18年 上小松	本 間 アキ子
女性消防団	班長 17年 黒 川	大河原 舞
女性消防団	団員 7年 上小松	竹 田 亜由美
女性消防団	団員 7年 玉 庭	中 田 裕 子
女性消防団	団員 5年 高 山	寒河江 桜 子
女性消防団	団員 4年 上小松	宮 田 瑞 穂
女性消防団	団員 3年 高豆蔻	大河原 綾 乃
広聴広報 常任委員会	委員長	伊 藤 寿 郎
広聴広報 常任委員会	副委員長	遠 藤 明 子
広聴広報 常任委員会	委員	鈴 木 幸 廣
広聴広報 常任委員会	委員	伊 藤 進
広聴広報 常任委員会	委員	渡 部 秀 一
広聴広報 常任委員会	委員	井 上 晃 一

川西町女性消防団の活動（令和元年）

4月7日	辞令交付式・団員研修	10月	秋季消防演習
4月10日	広報紙区分け	10月	山形県女性消防連絡協議会
4月28日	川西町春季消防演習	11月	住警器推進啓発
6月23日	川西町水防訓練	11月12日	第24回全国女性消防操法大会
7月21日	消防ポンプ操法大会		
8月4日	県消防ポンプ操法大会	1月5日	出初式
8月	防災訓練（おおぞら保育所にて紙芝居）	2月22日	老人世帯訪問
8月25日	町総合防災訓練	3月	定例会



防災訓練で要救助訓練



応急手当訓練



火事を出さないで = 玉庭保育所での紙芝居

仲間を増やしたい／防災・防火の知識を伝えたい



大河原 舞さん
黒川 団員歴17年



竹田亜由美さん
上小松 団員歴7年



中田 裕子さん
玉庭 団員歴7年

鈴木 委員 広報を使った団員募集の成果は
どうですか。

本間 広報紙を発行して6年目、まだまだ町内に広がっていないのが現状ですね。

大河原 (織) 昨年の全国大会で各メディアに取り上げて頂きいろいろな方からの反響がありました。女性の立場でできる防火・予防活動等、私たちができることを課題とし、やっ

ていこうと思います。
町に期待すること

は

竹田 団員を増やす支援があればいい

ですね。職場の仲間から「TV見たよ。」などの声が嬉しかったし、

活動を応援してもらっています。
遠藤副 同性からみても
委員長 懂れます。

活動して良かった事等お聞きかせください。

中田 全国操法大会の練習では、部活動みたいでしたが、久しぶりに一つのこと集中できました。また、予防や救急の勉強にも一役買っています。



全国操法大会、緊張がとけて安堵の表情 = 選手と応援者 (横浜赤レンガ倉庫)

—皆さんの将来の夢をお聞かせください。

寒江 やはり、退団者が多いのが現実。私は職場の先輩から誘われて入団しましたが、新しい仲間との触れ合いが好きです。

これから人数が増え一緒に活躍できたらいいなって思います。

大河原 (舞) いままで消防活動ができたのも家族の支えがあつてのこと、これからも子どもや家族にも応急手当を教えたりしながら防災、防火の知識を伝えていきたいです。

富田 団に入るまで全く活動を知りませんでした。制服を着ての活動以外にも

急の資格を取得して廻りのみなさんに伝えていきたいです。また、広く輪を広げられたら

いいなって思います。
伊藤 児童や園児への委員長 読み聞かせや、高齢者への訪問、声が

最後は今後の目標をお聞かせください。

本間 現在、応急手当の資格者が6名います。

小中学校へ出向きAEDの使い方、人工呼吸のやり方等教えたりする予定です。団員みんなで話し合いながら地域に少しでも貢献できるように頑張ります。



寒河江桜子さん
高山 団員歴5年



宮田 瑞穂さん(旧姓神野)
上小松 団員歴4年



大河原綾乃さん
高豆蔻 団員歴3年

私たちの想いがこの町を守る

エネルギーになる

策証 政検

議員全員で 30年度政策を検証

3月23日、定例会最終日に、30年度検証評価報告書が加藤議長から原田町長に手渡された。議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換をもとに、町行政の施策の分析と討論を行った。これで「政策提言↓検証↓評価」の1サイクルが終了することになる。

6度目の政策検証となるが、どうしても中長期の政策は評価が低くなる。施策にスピード感がなければ評価が上がらないとも言える。

町民参画で 町を変える

提言2 産業の振興

1 6次産業化を始めとする起業支援、及び起業育成のための即効的な対策を行うこと

回答 起業・創業者に対して、創業促進事業をはじめ6次産業化支援事業などの支援制度を整備した。国・県と連携を図り、意欲的な人材の掘り起こしや育成に向けて、引き続き支援に努める。

検証評価 支援事業の一定の効果は見られるが、創業後のレベルアップ支援に工夫が足りない。企業育成に継続性のある支援が必要である。

2 企業誘致を積極的に行うこと

回答 企業誘致については、新たな誘致に積極的に取り組み、町民の雇用機会の確保、所得の向上に努める。メデイカルタウン整備計画による重点整備区域内への商業施設の立地及び民間診療所の開設についても積極的な誘致に努める。

検証評価 町内既存の会社が維持継続していく支援が必要であり、新たな企業誘致活動でも住民雇用につながるよう努めるべきである。

政策検証評価基準

必要な取り組みを着実に実施。その結果、目標達成ないしほぼ達成

A ほぼ達成

必要な取り組みを着実に実施。その結果、達成に向けて具体的な成果が見られる

B 一定の成果有り

必要な取り組みをおおむね実施。その結果、一定の成果が見られ始めている

C 一定の成果有り

必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている

D 課題有り

取り組みに向けた検討に着手。目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である

E 課題有り

提言1 新庁舎整備と跡地利用

1 生活基盤の整備の遅延、縮減や、住民サービスの低下、住民負担の増加などがなく、住民に影響が少ない財政運営を行うこと

回答 財政運営は財政計画を十分に検討するとともに、事業の「選択と集中」が求められる。優先順位を明確化し、事業内容の見直し、業務改善等を図り、効率的な行政運営を行うっていく。

検証評価 大型事業が遅滞なく推進されていることは評価できるが、事業の検証と事業費の精査により、住民サービスの低下を招かないよう今後の財政運営を十分に検討すべきである。

2 新庁舎実施設計において、ランニングコストの低減を図ること

回答 実施計画では、①パッシブデザインの採用②空調方式についてデマンド制御を可能とする設備の導入③LED照明や太陽光発電設備の導入④建設コストの抑制と管理コストの縮減によるライフサイクルコストの低減を図る設計とした。

検証評価 実施設計の過程においてランニングコスト削減に努めているが、開庁後の維持管理経費の削減を図るべきである。

3 役場跡地利用の検討を加速すること

回答 できるだけ早期に検討の体制を確立し、令和元年度内の計画策定を目指す。小松地区の皆さんや、隣接する中央公民館を拠点に活動されている方々の意見もいただきながら検討を進める。

検証評価 内部及び外部委員会との検討や、各種団体からの意見を聴取したことは評価できる。今後とも町民と協議しながら、よりよい計画を早急に示すべきである。

提言3 福祉と健康のまちづくり

1 健康福祉センター(仮称)は、診療所、保育所、福祉関係団体等の複合施設とし、施設の多面的利用による健康づくりの拠点となるよう、その整備計画を早急に策定すること

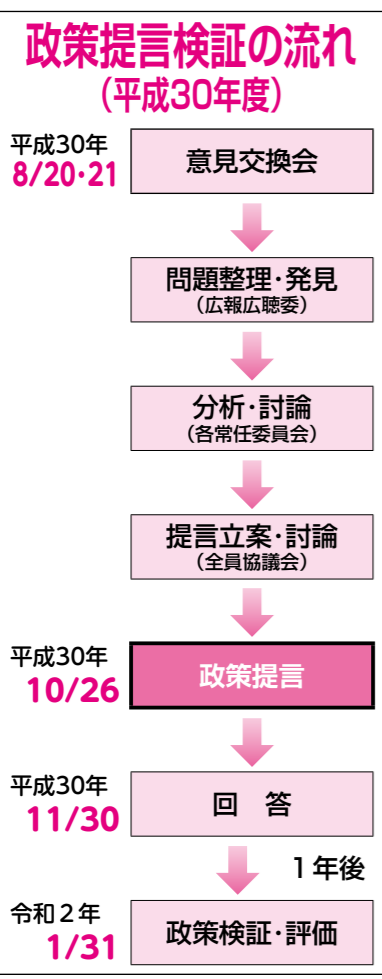
回答 設立当時と比べると機能や利活用の形態が変化している。関連する施設それぞれの持つ機能についても念頭に入れ、新たな健康・福祉の拠点として計画策定に努める。

検証評価 現在の施設の老朽化は著しいが、健康づくりの拠点となる健康福祉センター(仮称)の整備計画が進んでいない。整備の具体化に向けた取り組みを早急に進めるべきである。

2 パークゴルフ場を中心とした「ふれあいの丘」を活用し、健康づくり事業の推進を図ること

回答 競技の普及・拡大に努めるとともに、ふれあいの丘が持つそれぞれの特性を生かし連結させながら、ふれあいの丘一体で誰でも楽しめる魅力ある健康づくり事業を展開していく。

検証評価 パークゴルフ場は整備されたが、内山沢遊歩道等の整備を進めながら「ふれあいの丘」の機能を高め、より健康づくりを促進するべきである。



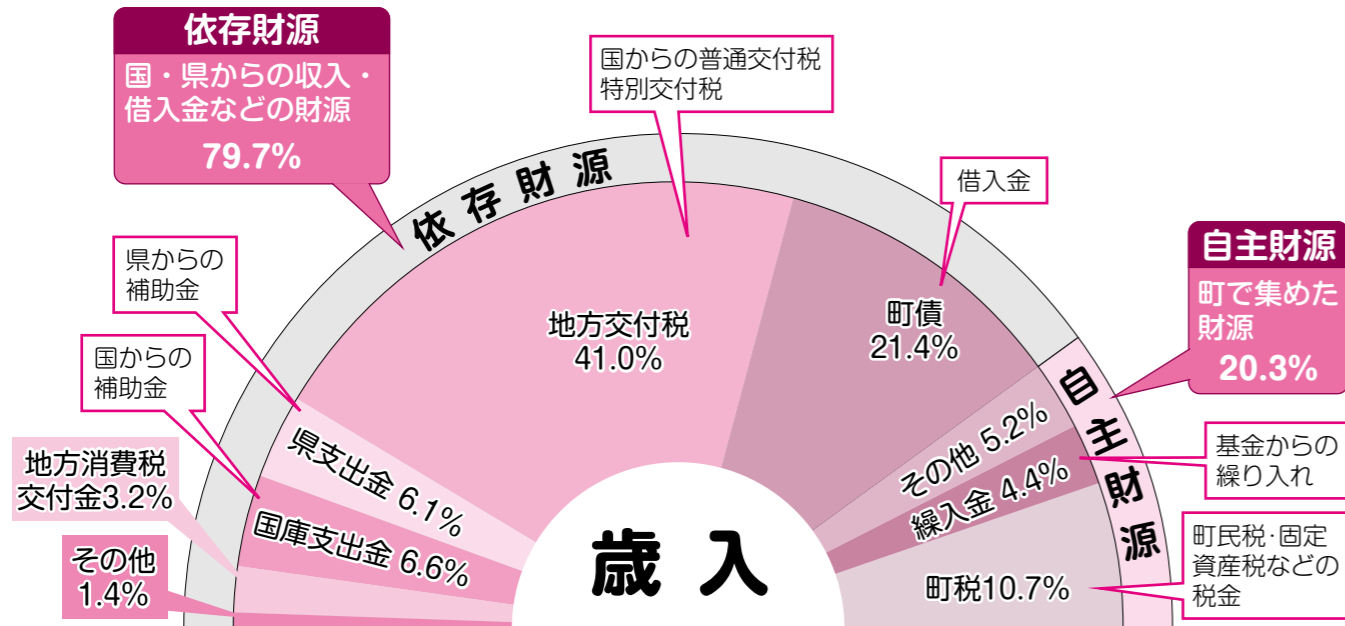
大型プロジェクトが進む 令和2年度予算 前年度比9.5%増

3月 定例会

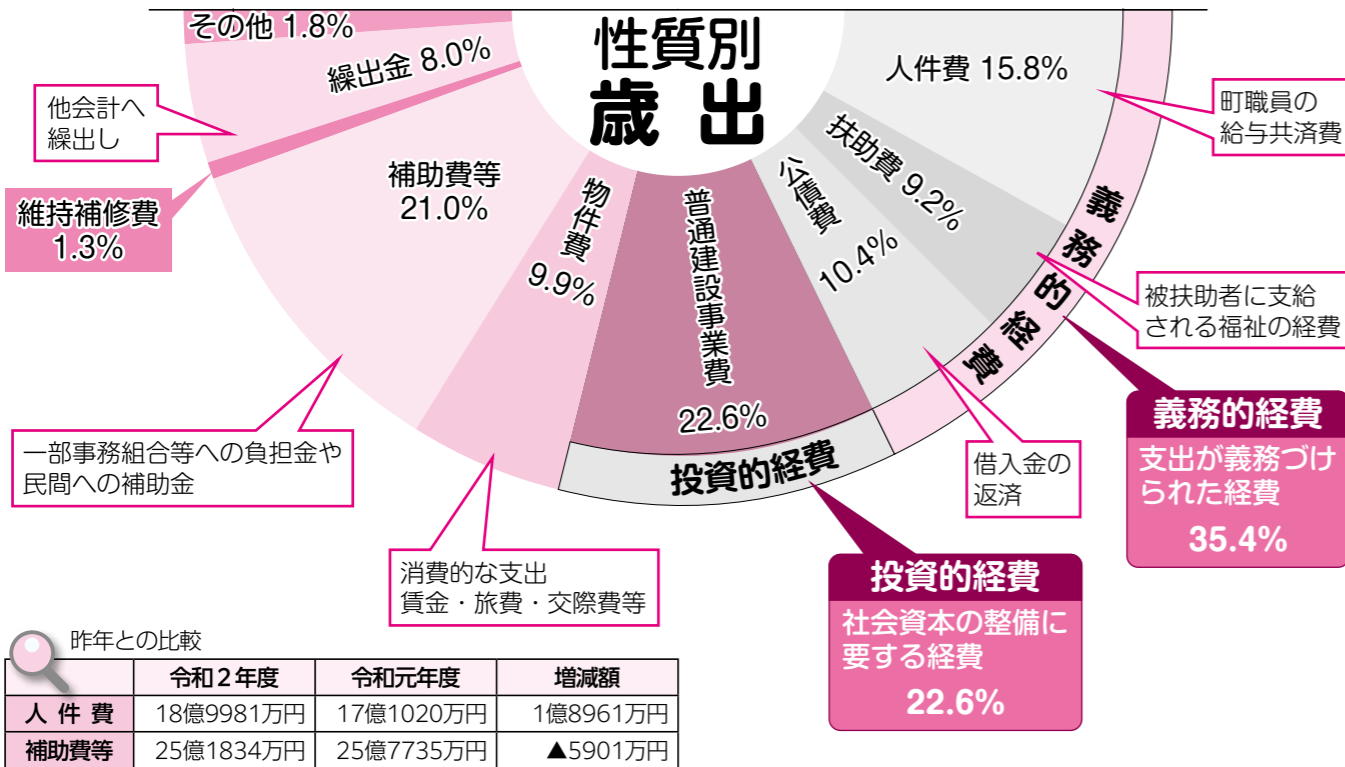
予算の内訳

昨年との比較

	令和2年度	令和元年度	増減額
地方交付税	49億2500万円	48億7500万円	5000万円
町債(借入金)	25億6600万円	17億5680万円	8億920万円



一般会計 120億700万円



昨年との比較

	令和2年度	令和元年度	増減額
人件費	18億9981万円	17億1020万円	1億8961万円
補助費等	25億1834万円	25億7735万円	▲5901万円

令和2年度一般会計予算の特徴

- 120億700万円で前年度対比9.5%の増。過去最高額の予算となった。
- 投資的経費は、新庁舎建設・メディカルタウン整備などで、前年度対比64.7%増の27億988万円。
- 公債費(借入金返済)12億5439万円。
- 主な事業は、新庁舎整備、メディカルタウン整備、小学校施設空調設備整備など。

令和2年度の一般会計の総額は、120億700万円。前年度対比9.5%増。新庁舎建設の継続で過去最高の予算となった。

町長は、施政方針で本町の最大財源である地方交付税は、全国規模で総額2.4%の増額の見込みだが、会計年度任用職員制度の施行に伴う人件費増や、各種基金の残高が乏し

いなど、厳しい財政状況が続くと予想している。その中で新庁舎整備、かわにし未来ビジョンや、まち・ひと・しごと創生総合戦略のプロジェクト事業をはじめ、町の政策的課題や重要事業を可能な限り盛り込んだとしている。

最大のプロジェクトである新庁舎整備、公立置賜総合病院周辺の

メディカルタウン整備 関連町道整備、中郡小・吉島小の空調設備整備、ダリヤ園開園60周年事業などを盛り込んでいる。また、引き続き、虚空蔵山西線道路改良、橋梁長寿命化修繕整備、高校生までの医療費無料化を行う。

地方交付税は、平成19年度に借り入れた過疎対策事業債の償還が完了するなど、これまで

での交付状況を踏まえ、前年度比1.2%の増を見込み計上した。

議会は財政規律を注視

本町は、積極的に大型事業を行っていることから、財政調整基金は枯渇状態にある。議会は、二元代表制の一翼を担っており、チェック機能を発揮し財政規律を注視することが必要である。

3月定例会のあらまし

3月定例会が3月4日から23日まで20日間の会期で開催された。

第1日目に、人事案13件を可決、令和元年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認を行った後、条例4件、町道路線の認定の審査を各常任委員会に付託した。

第2、3日目に一般質問を行い、9議員が新型コロナウイルス対策などを取り上げ、町政をたじた。一般質問終了後、元年度補正予算7件、2年度予算7件の審査を予算特別委員会に付託した。

厳しい財政状況の中

過去最高額の予算

第6日目に降に常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査した。

最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した19議案と、追加された元年度一般会計補正予算(第10号)、条例1件を可決。また新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出と、請願採択による最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を可決し閉会した。傍聴者は8人。

2年度 予算

令和2年度 一般会計予算に 討論がありました

反対

高橋 輝行 議員

財政状況は、悪化の一途をたどっている。この現状は監査委員の意見書のとおりである。その要因は、町長がその時々の課題に取り組んできたと言いが、実態は国や県から出された支援事業に、場当たりに取りつき、もともと計画になかった大規模事業を充分な協議もないうまま、進めてきた結果招いたものと考ええる。防災拠点として、新庁舎建設に取り組んでいるとの説明だが、もともと計画にあった体育館の耐震化など町民に密着した課題

が、先送りされている。時間の経過とともに、小規模な改修で間に合うものが事業費も大規模となってしまう。所得の向上策や次世代の定住を促す政策に、本腰を入れた予算措置がまったく見えてこない。「町長とのふれあいトーク」で町民の意見を聞いていたが、その公聴活動が予算編成に反映されていない。今回提出された場当たりの事業計画に基づく、当初予算には反対である。

私もひとこと

新庁舎と町へ望むこと

小松地区 海野 幸子 さん

幅広い世代の方々が利用しやすく、特に、高齢者や足腰の悪い方等へ配慮したバリアフリーや、休憩できる空間があると良いのでは。また、災害等にも強い庁舎で、町民の安心安全に努めてほしい。



さらに、町へ望むこととして、子どもたちが伸び伸びと遊べる、屋内外施設等の環境整備をお願いしたい。

メディカルタウン整備が始まる

大塚地区 阿部 杏菜 さん

メディカルタウンができることによって、町民の方々が住み易くなるのであれば、とても良いことだと思う。



まだどのようなグランドデザインか、はっきり分からないので不安もある。スーパーマーケットや薬局などの他さまざまな商業施設ができれば良いと思っている。川西町民に喜ばれるメディカルタウン整備になることを祈っている。

ダリヤ園開園60周年に期待

中郡地区 斎藤 弘史 さん

ダリアの切り花生産は、全国的に盛んになってきている。他産地ではオリジナル品種のPRが成功している。本町では、切り花のオリジナル品種生産が少ないのが現状である。ダリヤ園でのオリジナル品種の生産を多くして頂き、切り花生産にも力を入れて行きたい。関係機関との連携を図り効果的なPRを行い観光と生産両面にメリットがある取り組みに期待する。



今年が目玉
ピックアップ

新庁舎整備

新庁舎整備は、昨年12月完成を目指して実施から着手し令和3年1月に行われる。

令和2年度の主な工事は本庁舎、車庫・エネルギー棟、防災倉庫の建築工事が継続して行われる。また、外構工事及び融雪設備工事、太陽光発電設備工事は今年秋から着手するスケジュール。

ジュールである。現庁舎から移設する工事は、防災システム（県防災無線、Jアラート、震度計）、庁内ネットワークシステム、水道管理システムとしている。その他の工事では、電気自動車急速充電装置を整備する。

19億6595万円



新庁舎の全容が見えてきた

メディカルタウン整備

国土交通省より、新潟山形南部連絡道路（梨郷道路）の開通年度が令和5年度と公表された。これにより国道287号米沢長井道路の整備が加速され、病院周辺の社会资本整備が一層推進される。

町では、区域内の町道横道八幡林線とIC整備も進んできている。

また、令和2年度は開園60周年を迎え、ダリアの記念日の設定や60周年記念特別ラジオ放送のほか、ダリアの総選挙（人気投票）などの参加型イベントが予定されている。

1億6853万円




ダリヤ園管理運営事業

ダリヤ園管理運営事業は、本町の観光拠点となる川西ダリヤ園の維持管理のほか、そのPRを行う。

令和2年度は適切な管理運営を行うために備品（トラクター）の更新、ダリア球根の入れ替えなどが行われる。

また、令和2年度は開園60周年を迎え、ダリアの記念日の設定や60周年記念特別ラジオ放送のほか、ダリアの総選挙（人気投票）などの参加型イベントが予定されている。

4642万円



60年の先をめざし

2年度 予算

令和2年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	120億700万円	賛成多数により可決(反対3)
国民健康保険事業特別会計	17億974万円	賛成多数により可決(反対3)
下水道特別会計	6億401万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	9830万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	18億7637万円	賛成多数により可決(反対2)
後期高齢者医療特別会計	1億7743万円	賛成多数により可決(反対2)

企業会計	収入	支出	議決の内容
水道事業会計	収益的	4億8822万円	賛成多数により可決(反対1)
	資本的	6229万円	
		4億7022万円	
		2億1702万円	

総括質疑

運筆堂文庫山形館へ支援を

淀 秀夫 議員

淀 株式会社シベールが会社更生法の適用を申請したため、支援者をテレビや新聞等で募っている。吉里吉里忌を毎年行っている川西町として、蔵書の貸出し先の山形館への支援を考えていくべきでは。

町長 井上ひさし氏が思う気持ちは同感だが、町の大切な財産である蔵書が、しっかり管理され活用されていることが明らかに、財団から事業計画や企画書等の提出を受けた上で、信頼関係の構築を考えていく。

正職員を増員せよ

橋本 欣一 議員

橋本 今までの臨時・嘱託職員が会計年度任用職員となる。一定の身分保障があり待遇改善が期待される。職員募集では31業種での募集があり、臨時職員なしでは行政サービスが十分できないと認識する。さらに、働き

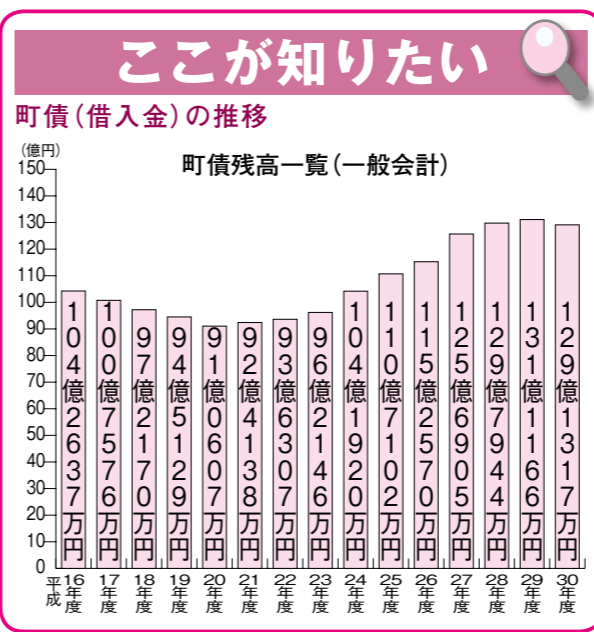
町長 行財政改革の中で、正職員の増員は考えていない。職員のスキルアップと効率的な行政運営で対応する。

適切な職員配置と育成を

高橋 輝行 議員

高橋 町民の問いかけに適切に対応できる職員配置が求められる。職員の育成、配置をどのように考えているか。

高橋 時間外勤務に対する執行管理の実態はどうか。上司の事前命令を原則として、勤務実態に合わせて、適正に手当を支給している。



町長に聞く

分科会の予算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた

閉校後の校舎はどうするのか

問 旧高山小学校、旧東沢小学校の今後の在り方は。

町長 旧高山小学校は、地域からの具体的な利活用の意向、提案等はないことから、地域外からの情報収集を行っている。現在、一事業者から、校舎部分の具体的な活用案を示されており、

施設の現状調査等を踏まえたうえで判断する旨を聞いています。

旧東沢小学校は、東沢地区において、閉校前に廃校の活用事例に関し、先進地視察を行い、地区全世帯のアンケート調査を実施した。

意見 施設の利活用または除却について、早急に方向性を定める費用の縮減に努めること。

問 「かわにし森のマルシェ」の運営状況と今後の方針は。

町長 平成28年5月にオープン。「株式会社かわにし森のマルシェ」を指定管理者に指定し運営している。同社の今期の収支決算は黒字となる見込みである。

6次産業化の推進策は

問 6次産業の加工場の考え方は。

町長 加工施設に関する従来の方向性は、農産物の加工、加工技術の習得の機会を創出する。また施設や機器の整備を進めることが重要であるため、複数の組織や共同で利用可能であり、利用時に応じた料金制で利用できる施設を調査研究したが、現状では運営組織および整備コス

意見 置賜農業高校とによるイベント等を実施するとともに、積極的に情報発信を行い、他施設と連携し回遊の仕組みづくりなど工夫し、誘客に努めること。



施設の有効利用はあるか - 旧東沢小学校

施設の有効利用はあるか - 旧東沢小学校

施設の有効利用はあるか - 旧東沢小学校

施設の有効利用はあるか - 旧東沢小学校

施設の有効利用はあるか - 旧東沢小学校

ダリヤ園開園60周年

誘客につながる取り組みを



色とりどりに咲くダリアの花に期待

意見 建設資材等の納品情報を的確に把握し、納期遅れ等による工期に影響がでないようにすること。

問 スクールバスの運行管理はどうか。

答 老朽化したスクールバス1台を購入更新する。

意見 運行の安全対策の徹底を図るとともに、運行の在り方について検討すること。

問 小学校コンピュータ管理事業はどのような内容か。

答 小学4年生からICTを活用したプログラミング教育が行われる。

意見 今後ICT活用授業の増加が予測されるので、ICT支援員、補助員等を配置し教員の負担軽減を図ること。

理料と大塚地区交流センターの屋根修繕費用である。

意見 各地区の現状把握に努め協議を重ね、職員の負担軽減を図ること。

問 やまがたの暮らし推進機構の事業の内容は。

答 都市と地方の交流推進による川西ファンの拡大や移住定住の促進に向けた環境整備を図る。

意見 町民にも機構の事業を分かりやすく周知すること。

問 新庁舎整備の進捗状況は。

答 令和3年1月末日の完成に向けて順調に進んでいる。

意見 労働力不足への支援も検討すること。

問 町内製品の販売促進の今後の展開は。

答 販売促進や販路拡大及びブランド化を推進するため、各種イベントを通じた積極的な情報発信等を展開する。

意見 こまつ市での森のマルシェと連携を図るとともに、財政支援も検討すること。

問 みどり環境交付金事業の取り組みは。

答 町民参加型のイベントとして、原木さきのこ植菌体験やきのこ鑑定会等を実施する。

意見 さらなる事業の普及推進に向け周知を強化すること。

誘客につながる取り組みを



色とりどりに咲くダリアの花に期待

問 各納付金の状況はどうか。

答 じた均等割と1戸あたり単価の戸数分を乗じて報酬としている。

意見 自治会長連合会会長は、各種会議への出席が多く適切な費用弁償を支払うこと。

問 各地区交流センター管理事業の内容は。

答 7地区の経営母体への指定管理。

問 6次産業化推進事業は。

答 6次産業推進員の配置、支援事業の実施及び6次産業化拠点施設への支援を行う。

意見 森のマルシェの経営全般について

て、適切な指導助言を図ること。

問 ふるさとづくり基金管理の在り方は。

答 ふるさと納税の寄付金増額を目指すため、新たなポータルサイト「さとふる」は他のサイトと比べて手数料が大きく変わらざる事務代行ができるので選択した。新たな返礼品の掘り起こしと、多様な機会を利用し呼びかける。

意見 今後有利な方法で積極的に事業を推進すること。

問 民生委員児童委員の活動費は。

答 民生委員・児童委員は55人で一人あたりの年間活動費8万7000円を支払っている。

意見 多岐にわたる活動は委員の負担も大きいことから活動費の見直しを検討すること。

問 女性農業者への支援はどうか。

答 認定女性農業者に対し、生産資材購入費用の支援を行う。

意見 認定女性農業者に対し、生産資材購入費用の支援を行う。

森のマルシェの経営全般に
適切な指導助言を



リピーターが増えてきている「かわにし森のマルシェ」

意見 認定女性農業者に対し、生産資材購入費用の支援を行う。

問 女性農業者への支援はどうか。

答 認定女性農業者に対し、生産資材購入費用の支援を行う。

森のマルシェ加工施設建設は

町長 ー 初期投資の増大により断念

寒河江 産直施設である、かわにし森のマルシェの加工施設建設計画がある。中小松のホームセンター東側の土地を購入し、現在に至っても建設されないのは何故か。

町長 当初想定していた団体、個人が多目的に利用できる個別完結型計画が、費用対効果が見いだせない状況や、食品衛生法の改正等もあり、初期投資が増大することから計画実現に至っていない。立地条件を踏まえ、加工施設以外の活用を幅広く検討する。

防災行政無線の対策は

寒河江 災害時の緊急避難情報伝達に、防災行政無線が使用されているが、天候や風向きで聞こえない地区がある。対策はあるのか。

町長 避難勧告発令時には、防災行政無線は使用せず、登録制メール、緊急速報メール、ホームページ等を活用した。今後、防災情報取得が確実な戸別受信機や、防災ラジオの導入を検討する。

寒河江 男性職員の育児休暇取得率は、全国的に平均で5%と低い。本町においての取得率はどうか。

町長 育児休暇取得は、女性職員は100%取得しているが、男性職員はゼロである。業務遂行や収入減少の心配等、勤務時の給与水準に至らない実態がある。今後は、長期の休暇取得ではなく、半日程度の短期休暇取得も取り入れて、休暇を取得しやすい環境にしていく必要がある。

寒河江 新年度から学習指導要領の改正で、小、中学生の英語教育が必修化されるが、

町長 英語教育は、小学生3、4年生が年間35時間、5、6年生が70時間になる。本町では、英語指導を支援する体制づくりを平成27年度から取り組み、英語専科教員等の配置をしており、学習指導要領の完全実施にも問題なく対応できる。



加工施設が検討されたが？ - 中小松予定地

寒河江司 議員

一般質問

町政をただす

9人の議員が一般質問

定例会第2日目と3日目に一般質問が行われ、9人の議員が町政について質問しました。(発言順)に掲載します。

P17	寒河江 司 議員	マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> ① 6次産業化施設整備は。 ② 防災対策は。 ③ 働き方改革は。 ④ 学習指導要領改正は。
P18	神村 建二 議員	置農	<ul style="list-style-type: none"> ① 置賜農業高校存続のためどうするか。 ② 遊戯施設の整備は。 ③ 新型コロナウイルスの対策は。
P19	橋本 欣一 議員	教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 教員の変形労働時間制の導入は。 ② 介護予防対策は。 ③ 読書推進の方策は。
P20	吉村 徹 議員	鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> ① 鳥獣被害対策は。 ② 社会的ひきこもりの状況は。 ③ 置賜定住自立圏構想の進捗状況は。
P21	渡部 秀一 議員	庁舎跡地	<ul style="list-style-type: none"> ① 中心街のより良い形成と街づくり。
P22	島 貫 借 議員	観光	<ul style="list-style-type: none"> ① ダリヤ園及びまどかの入場者数を増やす対策は。
P23	伊藤 寿郎 議員	読書推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 読書推進条例策定後の状況は。 ② 18歳選挙による若者への主権者教育は。 ③ 新型コロナウイルス対策は。
P24	井上 晃一 議員	雪冷房	<ul style="list-style-type: none"> ① 新庁舎の空調設備計画は。 ② フレンドリープラザの雪冷房は。
P25	高橋 輝行 議員	広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 合併特例法10年延長で今後の進め方は。 ② 町長就任後の大規模事業は。 ③ シベールアリーナに貸与した蔵書は。

①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

一般質問とは
 一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。
 質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。
 また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。
 再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

一般質問

農 置賜農業高校存続をどうする 町長―存在意義を高めるビジョンを確立する



神村建二 議員

神村 県立高校の将来の在り方について、山形県は再編整備計画に係る基本的な方向性を示した。それによると東南置賜地区は、将来において現在の7校から4校または3校にする再編案が示され、置賜農業高校の存続が危ぶまれているが、どう考えるか。

町長 本町と置賜農業高校は産業、教育、文化の分野等で相互に連携協力し、地域の発展と人材育成に大きく寄与している。同校の存在は町の宝であり、本町の活性化を推進するうえで欠かせないものと期待されている。本町唯一の高等学校の存在意義を今後とも一層高めていきたい。

神村 同校は農業について学べる地域に密着した実業校であり、地域社会、地域産業を学べる貴重な高校である。将来にわたって本町に存続させていかなければならない高校と強く認識し、早めの手立てが必要ではないか。

町長 行政や商工会、学校関係者のほか、同窓会やPTA等、地元関係者と組織する「学校魅力化に係る地域連絡協議会(仮称)」等の取り組みの情報を収集しながら、同校の存在意義を高めるビジョンを確立し、存続を目指していきたい。

神村 子育て支援の充実として、遊戯施設の整備が望まれている。特に冬季の遊び場が限られることから、屋内遊戯施設を望む声が多いが対応は、

町長 町では地域子育て支援の拠点として、遊戯センターの開館日を毎週月曜日から金曜日のほか第2、第4土曜日としていたが、2年度からは土曜日、日曜日の毎週午前中は開館する予定である。このほか、町内に放課後児童クラブ5カ所と放課後子ども教室3カ所があり、今後一層利用しやすい施設を目指していく。

神村 中国本土から広まった新型コロナウイルスの対策は



本町でも重要な教育機関 = 置賜農高

町長 2月27日に対策本部を設置し、町内の福祉・医療、幼児・教育施設の現状と課題、町内産業への影響予測、町が開催するイベントや会議等の開催の是非と感染の未然防止対策に取り組んだ。3月3日に感染予防対策等を記載したチラシを全戸配布し、町民への協力をお願いした。

教育

教員の変形労働時間制は導入するな 教育長 一 国・県の動向を注視したい

橋本 教員の過重労働の解消のため令和3年度から教員の変形労働時間制が導入される。導入は市町村の教育委員会の決定であるという。まず、川西町の教員の超過勤務時間実態はどうか。

町長 小学校で33時間67分、中学校で26分、中学校で26分、中学校で26分(1月の平均)である。上限は、月45時間、年360時間までとなっている。中学校での超過勤務が問題だ。1日10時間以上の労働時間となる。教育長は教育行政の

町長 責任者として、教員の過酷な労働状況の改善を図らなければならないと思うがどうか。

橋本 変形労働時間制は、学校繁忙期に労働時間を延長し、夏休みなどで休むという制度である。「忙しい時は働いて、忙しい時は働いて、

町長 後で休む。今日の疲れを夏休みに取れ」という制度でもある。また、勤務時間が管理されるため、出勤日、休日があらかじめ決まり、柔軟性がなく学校運営に支障をきたす可能性があるし、逐一管理する校長などの管理職が一番大変になるといわれている。この制度は導入すべきではない。

橋本 昨年3月に川西町読書推進条例が制定された。井上ひさしの生誕地として読書をまちづくりの一つの手段として押し進めようというものだ。

町長 読書推進の現状はどうか。

橋本 近隣の市町では公立図書館の新設があり、利用者も増加している。町立図書館は遅筆堂文庫と共に、利用者数は県内有数と聞く。他の図書館にない貴重な書籍もある。

橋本 山形市のシベールアリーナの経営が厳しい。遅筆堂文庫から貸し出している書籍類の管理はどうしているのか。

町長 貸出し協定の見直し・確認により、管理徹底を図り、資料の紛失・散逸が無いように対応する。



学習支援員の紹介 = 小松小学校

一般質問

鳥獣被害

鳥獣被害の現状と対策は

町長―狩猟技術等の向上を図る



吉村 徹 議員

吉村 昨年の鳥獣による農作物の被害状況はどうなっているか。

14倍と増加している状況にある。

吉村 今後の取り組みについては、被害が中山間地から平場にも広がってきている状況を踏まえ、より一層住民、行政、農業団体、猟友会など関係する団体により強力な対策が求められているのでは。

町長 野生鳥獣対策のなかでも特にイノシシの被害防止対策

をこれまで以上に進め、狩猟技術の向上や捕獲機材等の充実を図り捕獲数の増加に努める。また、県がモデル地域を設定して行う「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策事業」に該当するよう働きかける。

吉村 内閣府が昨年3月、自宅で半年以上閉じこもっている「ひきこもり」といわれる方が、110万人を超える予想との発表があったが、本町での現況調査は実施されているか。

町長 町独自で調査した実績はなく、県全体の調査結果から本町の状況、傾向について類推している。平成30年度は来所、訪問相談合わせて7件、令和元年度は来所相談が1件という状況であり、相談支援や、専門機関

への紹介など、関係機関と連携しながら支援にあたっている。

吉村 今後、ひきこもりの増加が懸念されるが、対策についてどう考えるか。

町長 ひきこもりの支援に関しては、日常生活の自立、社会生活の自立、就労の自立の3段階を経る必要がある、本人の複雑な状況や心情を理解しながら、丁寧に寄り添う伴奏型支援が必要であり、関係機関との総合

みを行う。

吉村 「置賜定住自立圏構想」の内容と進捗状況は。

町長 定住の受け皿づくりと、人口流出を防ぐため、米沢市と置賜管内全市町がそれぞれ協定を締結し、今年度から5年間の定住自立圏共生ビジョンを策定し具体的取り組みを行う。



深刻な鳥獣被害、万全な対策を

庁舎跡地利活用

中心街のより良い形成と街づくりは

町長―基本計画の策定に取り組む

渡部 3月に庁舎跡地利活用第一階である基本方針の方向性が定まり、第二段階の基本計画に入るが、どのような委員会になるのか。

町長 庁内での検討はほぼ終了し、3月6日に開催される外部委員会で、基本方針を取りまとめる予定である。この基本方針を基に、令和2年度において、事業の具体化に向けた基本計画の策定に取り組む。基本計画には、整備する施設機能

を明確にしたうえで、施設の配置や平面計画、整備手法と財源の研究

など、事業の実施に向けて必要な具体的事項を検討する。

現時点で、具体的な構成は示せないが、この間の一般質問で指摘された専門的知見を有する方や、地元の方々の参画を得て、施設の有効活用が図られる基本計画を策定する。

渡部 第二段階の委員会では、より具体的な話し合いになると思うが、前に回答があった小松地区交流センターを含む複合施設や、商工会からの提案、多世代交流のできる空間等、多くの提案が検討されるはずだ。これ

らの財源確保はどうするか。

町長 庁舎跡地利活用は、整備する施設機能が明確になっていないため、基本計画策定の中で、内容に合致する支援事業等の研究を進める予定である。国等の財政支援を得るため、各種計画の策定や、それらの研究も併せて財源確保に努める。



渡部秀一 議員

町長 役場庁舎の移転と中央公民館撤去後の中心街について、委員会の中で諮問されていると思うが、街づくりの観点から、庁舎跡地を拠点に、更新を

控えている診療所等公共施設への動線をつなぐべきと考えるが。

町長 今回は庁舎跡地利活用の活用についての検討を行っており、中心市街地全体の整備計画までは検討していない。委員会には、移転後の賑わいづくりに

ついての諮問は行っていない。指摘のとおり賑わいづくりを図るには、回遊を生み出すことが有効である。そのため、拠点施設の整備といったハード事業と、それを生かすソフト事業が重要と考える。



庁舎跡地利活用は中心街も考慮した計画に

一般質問

観光 ダリヤ園、まどかの誘客対策は 町長―関係組織・団体等で検討する



島貫 偕 議員

島貫 ダリヤ園の入園者数の増加を図る対策として、全国五

こんにやく選手権を複数回実施、俳句大会、入園者数1万人目と2万人目に鈴木割り、ダリア栽培の指導等さまざまなイベントで誘客を図ってはどうか。

町長 提案については、主催者である観光協会や関係団体と意見交換しながら、既存イベントに拘らず、多

くの来園者を楽しんでもらえるように検討していく。

島貫 まどかの入湯料が300円から400円に100円値

上げされるが、経費等の面で10年後、20年後の将来が心配である。新しく50度の源泉を掘り当て、新館を建てるのはどうか。

町長 浴浴センターは、町民の健康と、福祉の増進、地域の振

興及び地域間交流の拠点として平成4年に、また、平成7年は研修宿泊棟を整備し、現在に至っている。一方、温泉保養棟については、経年による施設及び設備の劣化が見られるほか、源泉は平成元年に湧出してから、約30年が経過し、湯量と湯温の低下が懸念され、新たな源泉の確保が課題と捉えている。今後、源泉の維持管

理に努めながら、施設の改善整備を検討する。現時点での新館建設の考えはなく、施設の長寿命化に努めるとともに、来館者へのサービスの向上や衛生管理を徹底し、満足度を高め、親しまれる施設運営に取り組んでいく。

島貫 町やダリヤ園への県道高畠川西線沿いにインターチェンジを

りやすくするために、県道高畠川西線沿いに、高速道路のインターチェンジが必要である。

町長 高畠川西線沿いに、インターチェンジを作るとは、町へのアクセスが短縮される、その効果が期待できるものと認識している。平成30年度、置賜総合開発協議会総会において、整備事業の推進について、新規重要事業として、令和元年度、要望内容に加えられ、国・県等に要望している。その後、国から「準備段階調査箇所」に採択されている。



昨年度の開園セレモニー＝創作和太鼓「風きりり」＝川西ダリヤ園

読書推進 読書推進条例制定後は 町長―愛読者の拡大に努める

読書推進

伊藤 平成31年4月に読書推進条例が

施行されたが、より一層の読書推進と活動の環境整備をどう考えるか。

町長 日常生活のわずかな時間でも、読書を習慣づけることが肝要である。事業を実施する側の感性を磨き、町報への情報掲載のほか、随時SNSを利用する情報発信をさらに強化して、新たな図書館等への来館者、本に親しむ方々の拡大に努める。

伊藤 学校図書館法で義務付けられている司書教諭等の配置状況とボランティアの活用状況はどうなっているか。

町長 平成29年度から令和3年度までの5年間で計画期間とする「川西町子ども読書推進計画」を策定している。学校だけの活動とせず、町立図書館との連携、PTA活動や学校運営協議会等を通して、家庭や地域と連携しながら読書推進活動に取り組んでいる。

伊藤 新型コロナウイルス対策は

町長 司書教諭は、川西中学校のみ配置している。

ボランティアについては、地域学校協働本部事業の地域ボランティアを活用している。小学校においては、低学年児童への本の読み聞かせを行い、小中学校とも蔵書点検や図書室の環境整備、破損した本の修繕等に協力いただき、学校図書館機能の充実に努めている。

伊藤 新型コロナウイルス対策は

町長 国の基本方針を受け2月27日に「川西町コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染予防対策の強化を図ることにした。

対策本部において、町等が主催するイベントや会議等に、独自の開催基準を設けるなど、感染症対策について、注意喚起の徹底を図る内容を記したチラシを全戸配布した。

伊藤 集団感染時の基準と感染予防策

町長 町としては、まずは何より家庭

地域、施設、町全体の中で感染を広げないこと、感染経路を遮断することが、最も大切であるものと認識している。町民生活や、経済活動に大きな影響を及ぼすことも予測される。国、県と連携し、町民の不安を払しょくし、混乱を招かないよう的確に対応していく。

その他 18歳選挙権に関する若者への主権者教育について質問



伊藤寿郎 議員



学校図書ボランティアの皆さん

一般質問

雪冷房

フレンドリープラザの雪冷房は

町長 既存電気冷房を稼働させて対応する



井上晃一 議員

井上 暖冬で降雪が少ないが、雪冷房は、暖冬による少雪は想定を超えた。

町長 フレンドリープラザの冷房は、費用が膨らむことが想定されるため、雪冷房導入前の既存電気冷房を稼働させて対応する予定だ。

井上 異常気象が恒常化し深刻だが、電気冷房をバックアップとして利用しながら、厄介も

町長 指定管理料の申請で対応するよう指導していく。

井上 雪がなくなり、冷房できない時があるが、

町長 スノードーム内には十分に給雪しているが、近年の猛暑の影響や利用状況で融雪が早く進んだ。不便をかけたことお詫びする。

井上 新庁舎の空調・経済性は

町長 平成29年11月に策定した「川西町新庁舎整備基本計画」で暮らしを守る庁舎、開かれた利用しやすい庁舎、人と環境にやさしい庁舎、効率的

井上 新庁舎の空調にガスヒートポンプを採用する根拠は、

町長 平成29年11月に策定した「川西町新庁舎整備基本計画」の空調設備設計では、省エネルギーを重視した計画のもと、熱源を比較検討し、最大需要電力を抑え、使用時間帯の違いにも多様な空調で対応する。LPガスは、化石エネルギーの中では二酸化

の雪を貴重な資源として活用していく。

で機能性・経済性の高い庁舎、の4点を基本方針とした。

基本方針に基づき平成30年8月に策定した「川西町新庁舎整備基本計画」の空調設備設計では、省エネルギーを重視した計画のもと、熱源を比較検討し、最大需要電力を抑え、使用時間帯の違いにも多様な空調で対応する。LPガスは、化石エネルギーの中では二酸化

炭素排出量が少なく、極めてクリーンなエネルギーであり、省エネルギー性・即暖性に優れている。年間使用時間の短い議場をガス式大会議室等は電気式とすることでデマンド抑制とランニングコストの抑制を図る。

井上 SDGsの目標7、脱化石燃料との整合性は、

町長 地球温暖化の原因とされている温室効果ガスの発生源となる化石燃料から、再生可能なクリーンエネルギーへの転換を目指すものと認識している。新庁舎は、高気密



エコスノードーム整備点検中

たにせよ、町債と一般財源を合わせると、町の負担（借金）は約31億3千万円となる。これに現在進めている庁舎建設費約30億円、メディアカルタウン事業費等が加算される。大型事業の実施に伴い、財政を圧迫していることは明らかである。町長の財政計画と財政規模について伺う。

町長 将来を見据えた財政計画が必要

井上 シベリアルアリーナと遅筆堂文庫山形館」を運営する「公益財団法人弦地域文化支援財団」の経営が逼迫（ひっぱく）していると聞く。

町長 支援等は検討していない。新たに同財団と覚書を交わした。貸出書籍・資料等の散逸、保全に万全を期す。

町長 シベリアルアリーナに貸与した蔵書は

高橋 シベリアルアリーナに貸与している遅筆堂文庫の本について、一旦返却を求めるときではないか。

町長 財団側に本の保証生じた場合は、速やかに返却を求めると。

広域連携

合併特例法延長で広域連携の進め方は

町長 一定住自立圏構想に積極的に参画する

高橋 2020年3月30日までの10年間延長となる。改正案は、合併を支援する措置を継続するもので、現行法は、国が「平成の大合併」を推進した旧合併特例法を改正し、2010年に施行されたものである。

本町においては、平成21年（2009年）3月米沢市と川西町の合併協議会設置に関する提案があり、賛成少数で否決された経過がある。この時、町長は合併には否定的であったが、本町は広域連携を進め、置賜の将来に

町長 ジョンを推進する一翼を担うと述べているが、

町長 就任当初は、町議会をはじめ、町内外で盛んに合併協議が行われた。市町村合併を巡っては、さまざまな組み合わせによる協議や動きがあったが、平成21年3月13日、議会に対し提案した、米沢市・川西町合併協議会設置に関する議案は、結果として否決された。

高橋 自主自立のまちづくりを進めるというところだが、自主自立どころか、停滞の一途をたどっているのではないか。広域連携をどのように進めよう

高橋 平成16年に町長就任後の主な大規模事業を検証してみ

た。総事業費43億8千万円で国の補助金があっ

たにせよ、町債と一般財源を合わせると、町の負担（借金）は約31億3千万円となる。これに現在進めている庁舎建設費約30億円、メディアカルタウン事業費等が加算される。大型事業の実施に伴い、財政を圧迫していることは明らかである。町長の財政計画と財政規模について伺う。

町長 将来を見据えた財政計画が必要

井上 SDGsの目標7、脱化石燃料との整合性は、地球温暖化の原因とされている温室効果ガスの発生源となる化石燃料から、再生可能なクリーンエネルギーへの転換を目指すものと認識している。新庁舎は、高気密

町長 シベリアルアリーナに貸与した蔵書は

高橋 シベリアルアリーナに貸与している遅筆堂文庫の本について、一旦返却を求めるときではないか。

町長 財団側に本の保証生じた場合は、速やかに返却を求めると。



高橋輝行 議員



井上ひさし氏の宝書であふれる = 遅筆堂文庫

被災農業者へ支援 施設、農業機械の更新



台風による水害・一日も早い復旧を = 吉田

分の1以内、7058万5000円。(要望ベース)

強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援型)

令和元年8月から9月の前線に伴う大雨(台風第10号、第13号、第15号、第17号の暴風雨を含む)、台風第19号等により被害を受けた、農産物の生産・加工に必要な施設・機械の再建・修繕等、営農を再開する農業者の方への支援を行うもの。農業用・加工用機械の取得・修繕、ハウスの内流入の土砂の撤去、果樹棚・畜舎等の補強についても助成する。996万2000円。(要望ベース)



表紙の写真

想いをつなぐ

新型コロナウイルス感染拡大で、東京オリンピックも延期になったが、本町から聖火ランナーに選ばれた兄妹がいる。個別に応募し、別々に当選された。

祖父も昭和39年の東京オリンピックの聖火ランナーを務められた。延期されたが、聖火ランナーは継続されるので、当日まで希望を持って練習を続けていきたいとの言葉に、祖父も顔をほころばせていた。

犬川地区
祖父 佐藤嘉彦さん
孫 荒木結心さん
(兄 日成くんは不在)

主な質疑

歳入
財政調整基金は、国が指針として

問
いる額にはなっていないが、どのように考えているか。

答
国が示す標準財政規模の5%に向けて努力していく。

問
マイナンバーカードの普及推進を図る具体的方法はあるのか。

答
今回、税相談会活課長 場に赴き、おいでいただいた方に説明し、申請していただいた。

問
県が創設した「山形暮らし安心資金貸付制度」を原

答
資とし、山形社会福祉協議会へ貸付を行うようだが、内容はどのようなものか。

答
株式会社大沼の倒産で、解雇に

問
より生活に支障をきたしている方への支援となるものである。

問
広域病院運営事業で増額の内容は。

答
公立置賜総合病院の精神科病床を26床増床したことに係る特別交付税額の増額である。

問
農業競争力強化基盤整備事業費の増額内容は。

答
現在整備している宮地地区及び大塚西部地区における基盤整備事業において、県事業費の増額補正に伴い町負担額分を増額するものである。

問
誘致企業支援で交付対象事業所に平洲農園とあるが、代表者の変更により、事業が再開されることによる支援である。

令和元年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第9号)	117億157万円 (1億6000万円追加)	全員賛成で可決
国民健康保険事業特別会計(第3号)	18億6552万円 (5852万円追加)	賛成多数で可決
下水道事業特別会計(第4号)	5億8622万円 (250万円追加)	全員賛成で可決
農業集落排水事業特別会計(第2号)	9418万円 (5万円追加)	全員賛成で可決
介護保険事業特別会計(第3号)	19億2153万円 (20万円追加)	賛成多数で可決
後期高齢者医療特別会計(第2号)	1億7320万円 (114万円追加)	賛成多数で可決
水道事業会計(第2号)	資本的支出 3100万円減額	全員賛成で可決
一般会計(第10号)	117億1815万円 (1657万円追加)	全員賛成で可決

一般会計補正予算(第9号)の主な内容

歳出	
番号制度事務負担金	53万円
広域病院運営負担金	1743万円
農業競争力強化基盤整備(宮地・大塚西部)	5600万円
担い手確保・経営強化支援 補助金	7058万円
強い農業・担い手づくり総合支援交付金	996万円
歳入	
個人番号カード交付事業費国庫負担金	53万円
特別交付税(広域病院運営費負担分)	1743万円
農業生産基盤整備事業債	5600万円
担い手確保・経営強化支援事業費 県補助金	7058万円
強い農業・担い手づくり総合支援交付金	996万円

一般会計補正予算(第10号)の主な内容

歳出	
特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後サービス支援扶助費	113万円
歳入	
障害者総合支援事業費国庫補助金	113万円

ため池緊急防災体制整備促進事業

防災体制整備促進で、ため池5カ所のハザードマップ作成が、新型コロナウイルス対策の影響で確認作業がずれたことにより、年度を超すことが判明したので、作成額を繰り越すこととな

73万7000円

新型コロナウイルスによる緊急対策事業補正

新型コロナウイルスによる対策として学校が臨時休校したことにより、放課後児童クラブが受け皿となった。それに対する委託料。

312万9000円

保育環境改善事業

幼稚園は教育支援体制整備事業で150万円。いずれも需用費として保健衛生用品等の購入資金。

商工業振興資金融資制度利子補給

新型コロナウイルスの影響による売り上げ減少等で経営不振が予測されることから、令和元年度融資残の年1%以内の割合で計算した額。無利子の融資となるように、県と協調して金融事業者、県、町で利子を負担するもの。

人事

任期満了を迎える農業委員

新たな委員任命に同意

平成29年3月19日より新たな農業委員会制度に移行し、任命されていた農業委員が、令和2年3月18日をもって任期満了となるため提案され、全員賛成で同意された。

農業委員会委員任命に同意(写真右側より)

後列
 後藤 満良(上小松)
 高橋 孝博(中小松)
 佐々木 一宏(上奥田)
 鈴木 秀男(菫)
 船山 マサエ(下小松)



農地の適正利用を図る農業委員

前列
 大沼 藤一(西大塚)
 勝見 和彦(下小松)
 阿部 つや子(上小松)
 市川 博幸(玉庭)
 新野 勝廣(吉田)

人権擁護委員の推薦に同意

平 善昭(洲島)
 黒澤 紀美子(堀金)
 齋藤 幸夫(菫)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

齋藤 幸夫(菫)

条例

防疫等の特殊勤務手当の新設

一般職職員の特務勤務手当の防疫等作業について、人事院の改正に準じて支給内容を新設するもの。

公布の日から施行する
全員賛成により可決

公務災害補償等に関する条例の一部改正

内容 豚熱のまん延を防止するために行う野生のししの死体の運搬若しくは埋却又は野生のししの捕獲現場等の消毒作業を新たに加える。

地方公務員法が改正され会計年度任用職員制度が令和2年4月1日付けで施行される。これに伴い、公務災害についても常勤職員の平均給与額の例によることとする規定を新たに整備するもの。

4月1日より施行
全員賛成により可決

町営住宅管理条例の一部改正

町営住宅の不正入居者に対する明け渡し請求の際、入居した日から明け渡し請求を行った日までの家賃については近傍同種家賃と、

4月1日より施行
全員賛成により可決

印鑑条例の一部改正

成年後見人等の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が施行され、印鑑登録証明事務処理が改正されたことに伴い、本条例を改正するもの。

4月1日より施行
全員賛成により可決

検診等で依頼する医師への報酬

川西町の特別職の医師に対する検診、介護審査会等の報酬について、県の日額が4月1日から改正されることを受け、非常勤の特別職報酬のうち、日額をもって定める報酬額の上限を改定するもの。

2万2300円以内で町長が定める額。
全員賛成により可決

町道認定

県営大塚西部1期地区整備事業に伴い、国道287号の一部を町道と認定し、基盤整備事業に含めた一体的な整備事業とするため、町道としての認定をするもの。

- 路線名
- ①大塚西部1号線
 - ②大塚西部2号線
 - ③大塚西部3号線
 - ④大塚西部4号線
- 全員賛成により可決**



町営根岸住宅



西大塚国道287号合流点

基盤整備事業に伴う国道287号の一部を町道認定

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

令和元年10月から令和2年3月まで

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
10月	0			2月	4	29,500	元年度置賜町村議長会定期総会他3件
11月	3	17,000	県女子駅伝南陽東置賜優勝祝賀会他2件	3月	0		
12月	3	8,000	民生委員児童委員歓迎会他2件	下半期合計		77,500	
1月	4	23,000	川西町建設業協会新年会他3件				

特別委員会

台風19号被災地復旧は…

順調に進んでいるか

12月定例会において、台風19号被害の対策の進捗状況と、今後の防災対策に鑑み、議会内において「令和元年台風19号の被災に関する調査特別委員会」が設置された。

また、この委員会を進めるため、2つの常任委員会から委員を選出し、調査特別小委員会を設置し、行うこととなった。



稲わらを堆肥にして草地へ散布準備 = 玉庭放牧場

玉庭放牧場で堆肥化

3月24日、本特別委員会で台風19号の被災に係る現地調査を行った。

稲わらの処理は当初千代田クリーンセンターで焼却していたが、予定より膨大な数量と泥混入で一日当たりの焼却量の低下により期間が長くなることがわかり、早期の処理は困難であることが判明した。各関係機関と協議の結果、玉庭放牧場を活用協議会の協力を得て同牧場に搬入し、堆肥化して活用することになった。3月末まで

にブルーシートをかけた土壌還元できるようにするまで町が管理する計画である。

被害河川の復旧状況視察

山口沢河川復旧現場（大舟）では、県道から現場まで鉄板での仮設道路をつくり、重機を駆使し工事を行っていた。水田作付け開始までに完成予定。

万福寺川では旧道に架かる橋を起点に上流が町管轄、下流が県管轄との説明があり、上流より下流の堤防が一段と低くなっていることが見られた。先の台



春作業前までには完成予定 = 山口沢川

樋門管理を地元自治会で

腰の高さまで水が上がった下黒川・高豆蔻地内、及び黒川の樋門確認を行った。浸水のあった地域で

は堆積わらも片付き、平常の生活を取り戻している様子がみられた。樋門の管理については個人委託であったが、豪雨のなか、夜間での作業など危険と困難が伴ったことで、県と地元自治会との話し合いのなかで、樋門管理の委託者を個人ではなく自治会管理とすることで話が進んでいる、との説明を受けた。

請願

最低賃金を大幅に引き上げ 地域間格差改善を求める

請願名

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願

《請願者》

山形県労働組合総連合議長 勝見 忍

《紹介議員》

橋本 欣一 吉村 徹

《所管委員会》

産業厚生常任委員会

《主な内容》

最低賃金を引き上げること、中小企業に働く労働者の4割の賃



金を引き上げることが出来る。労働者・国民の生活を底上げし購買力を上げること、地域の中小・零細企業の営業も改善させる地域循環型経済の確立が求められている。

最低賃金を大幅に引き上げつつ地域間格差をなくして、中小企業の拡充を実現するための意見書提出の請願。《審査の経過と結果》 願意妥当で採択

《本会議》 全員賛成により可決

意見書

国に2意見書 新たな過疎対策法制定を

新たな過疎対策法の制定に関する意見書(抜粋)

現行法は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果している多面的・公益的機能を今後

も維持していくためには、引き続き過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 国土交通大臣

賛成多数により可決 (反対1)

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書(抜粋)

左記項目の早期実現を求め、意見書を提出する。

- 1 政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金を引き上げること。
- 2 政府は、最低賃金法を「全国一律最低賃金制度」に改正すること。
- 3 政府は、最低賃金の引き上げを円滑にするため、中小企業への支援策を拡充すること。

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 中央最低賃金審議会 会長

全員賛成により可決

いぬかわわら細工会



なれないながらも楽しく

東京上野桜木あたりで行われる「山形かわにし豆の展示会」。いぬかわわら細工会の皆さんによるわら細工体験は、いつも順番待ちになるほど好評である。
年々川西ファンが増え、これからの関係人口の増加にも期待が持てる。
今回は地区の伝統を継承する、いぬかわわら細工会の皆さんにインタビューに伺いました。

伝統を守り受け継ぐ

がんばる川西 紹介 ③

特に、門松は大小さまざまな大きさを作り、飾りの水引やしめ縄などもそれぞれ異なるのでどれも唯一無二の作品となっています。
しめ飾りは（2人がかりでぎちっとしめられ）お正月の飾りをあしらった力作。犬川地区内で今年子どもが生まれた世帯にプレゼントします。

わら細工って大変

年末の門松、しめ飾りの生産と、正月から3月にかけてわらじ作りをします。発足10年になるが、会員は町内外からの参加者も増え30人に。12月から地域の50〜80代男性10人ほどが作業場に集い、ほぼ毎日わら細工に没頭しています。

いぬかわわら細工会の活動は

冬期間仲間が集まって好きな作業をし、お茶を飲んだりするサロン風な場所が良いです

「議会だより」を
読んでいますか
たまに読みます。全国表彰おめでとう。



きれいな飾りができた

ね。
最近少なくなったけれど子どもたちと一緒に作る時間があればなおいいね。伝統を絶やさぬようゆっくりやっています。
わら細工は受注生産しているほか、かわにし森のマルシェでも販売しています。



編集委員のメンバー



優秀賞を受賞した第137号

表彰

10年連続入賞 議会広報全国コンクール第3位

全国町村議会議長会が主催する議会広報全国コンクールは、編集技術の向上と紙面の充実を目指して毎年実施されており、今年で第34回を数える。
今年も274紙が応募し、最優秀賞の埼玉県寄居町をはじめ、入選10紙、表彰写真賞3紙、奨励賞8紙が選考され表彰された。寄居町が3年連続の最優秀賞に輝いた。

優秀賞を受賞している強豪。惜しくも寄居町に三連覇を許す結果となりましたが、読者を紙面に惹き込む独自の工夫やオリジナリティあふれる企画など住民参加型の記事に評価が集まりました」とある。
本町議会だよりは、第29回、30回のコンクールで2年連続の最優秀賞を受賞しており、10年連続の入賞を果した。
毎年多くの議会が視察研修に来町され、川西町のダリアのPRや知名度アップにも一役買っている。
今後もさらに研鑽に努めより良い広報紙をお届けしたい。



2月14日、山形県町村議会議長会定期総会において、議員在職23年以上となる方に自治功労賞が授けられました。本町からは淀秀夫議員が表彰されました。

「シリーズ広聴」が今回もみせどころになって、親しみやすい読物になっていきます。同時に、さまざまな種類の情報の適宜な処理が、バランスよく行われて並びました。

住民への広報を重視する議会姿勢が伝わるコンテンツが多彩です。議会の担う役割が紙面を通して強く伝わる編集です。

親しみやすい読物
山田 貞夫 委員長
「シリーズ広聴」が今回もみせどころになって、親しみやすい読物になっていきます。同時に、さまざまな種類の情報の適宜な処理が、バランスよく行われて並びました。

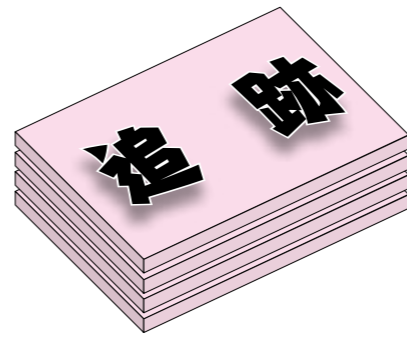
充実したコンテンツは
精力的な議会活動の証し
吉村 潔 委員
予算審議は、注目事業、総括質疑、分科会の審査等をまとめ、質疑に対し、「答」ではなく答弁者を明確に記載している点も良いと思います。

審査員 講評

読みごたえ満点
芳野 政明 委員
シリーズ広聴「町が大好き」では「認定女性農業者」の座談会で、地域に根差す農業の課題と展望を力強く語り合います。

企画と編集スキルが
長岡 光弘 委員
住民への広報を重視する議会姿勢が伝わるコンテンツが多彩です。議会の担う役割が紙面を通して強く伝わる編集です。

あれから…… どうなった！



診療所、健康福祉センターの整備急げ

平成30年度政策提言
健康福祉センターの整備

町 計画策定に努める



昭和42年に建てられた置賜川西診療所

平成12年11月に公立置賜総合病院のサテライト施設となった公立置賜川西診療所と、平成13年4月に同所（旧町立病院）に設置された川西町健康福祉センターを追跡した。

だが曜日別に行っている。非常設科の医師は総合病院からと山形大学の派遣および嘱託医である。現在常勤のスタッフは10人（正職員4・臨時職員6）となっている。

「人口減少が続く現状で延べ患者数が、数年間ほぼ横ばいとなっていて、収益も安定しているのは、地域に根差していることと、所長である洪間医師の力が大きいのでは」と、担当者は分析している。

利用者目線が大事
診療所と健康福祉センターが同じ場所にあると、診療を受けたあとすこやかサロンで過ごし、その反対であったりとうまく利用されている方もいると聞く。利用者の考え方で使用目的が増えるのは素晴らしいことである。

健康福祉センターは、健康意識の高まりと共に同様の施設が多く自治体で設置され、当町でも診療所内に併設

全員協議会

2月19日
第3者調査委員会
の設置

元職員の自死に関する第3者調査委員会の委員に山形県弁護士会から推薦のあった弁護士3人を委嘱した。

第3者調査委員会へは、①元職員の自死の原因に係る事実関係の解明②調査結果に基づく再発防止策の提言を諮問した旨報告を受けた。

令和2年度予算の概要
今後の経済の不確実性や人口流出と少子化による人口の減少が続くと予想される状況か

役場跡地利活用 基本方針定まる

ら、町税収入の減も予想され、財源も限られている状況で、町民生活環境の向上に重点を置き、一般会計の歳入歳出予算を120億700万円、前年比9.5%の増で編成した旨報告を受けた。

3月17日
全員協議会

第2次経営改革プラン（内容省略）
役場跡地利活用基本方針

役場庁舎跡地は、小松地区交流センターを核とした地域づくり拠点として整備する。基本理念として、集

場の創出を掲げて
①活力ある地域づくり
②交流・憩いの空間づくり
③まちなかのにぎわいづくり、以上3点の基本方針を定めた。

2月27日に対策本部を設置した旨の報告があった。

また、主な取り組みや緊急対応の補正予算の説明があった。

6 置賜広域病院企業団議会定例会の報告



大塚 長谷川由紀 さん

広報モニターから ひとこと ④

私は、川西町に嫁いで12年目になります。初めは何事にも不安な気持ちでいっぱいでしたが、地域の方々が声をかけて下さり、時には家族のように心配して下さって、とても温かく感じ嬉しかったです。現在、広報モニター

をさせて頂いておりませんが、議会だよりが年4回発行されているとの意識もなく、表紙を見て関心のある記事だけ読むという程度でした。この度、貴重な体験をさせて頂くことで町の課題が多くあることを痛感しました。また、議会だよりが全国広報コンクールで10年連続での上位入賞も初めて知りました。議会だよりの記事で、町の事業などの情報が分かり易く掲載されています。私の地域でも置賜総合病院周辺のメデイカルタウンの整備に期待をかけています。商業エリアや住宅エリアもできると、雇用の促進や経済の発展も図られると思います。今後は、各地区で行なわれる議員との意見交換会にも足を運び勉強していきたいと思

まちの未来が見える（3月定例会の傍聴者は8人）
議会傍聴においでください
次回定例会は6月です
どなたでも傍聴できます（事前連絡は不要です。役場3階にお越し下さい）

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。

町民の声

子育てしやすい町

東沢地区にお住まいの
沖野奈穂さんに子育て
や町に望むことをお聞
きました。

◆ プロフィール ◆

沖野 奈穂(おきの なほ)

住所 大字大舟(東沢)
家族 祖母、父母、夫
長男、次男、長女、
三男
趣味 お菓子づくり
仕事 会社員



川西町にーターン

私は、千葉県出身で、
縁があつて今の夫と一
緒になり、結婚、出産
を機に夫の地元によつ
てきました。

両親や親戚の方、地
域の方々に優しくして
もらい、心配や不安も
なく楽しく暮らしてい
ます。

子育て奮闘中

我が家には、7歳、
5歳、3歳、1歳の4
人の子どもがいます。
川西町は、子育てに對
し、たくさんの補助金
があるので、子どもが
たくさんいる家庭では、
とても助かっていると
思います。
子どもたちは、保育
園に通っています。そ
の関係で保育園の先生
や町の健診で会う保健



元気一ぱいの子どもたちと仲よく

師さんの方々は、親身
になって相談に乗って
下さるので、とても心
が軽くなります。

川西町にお願い

家は町の中心から離
れているので、車の交
通量はそれほど多くは
ないのですが、スピー
ドを出している方が少
しい気がします。
家は県道沿いで近く
にT字路交差点があり、
県道の前後がカーブで
少し見通しが悪いので、
スピードを控えめにし
て欲しいですし、そう

した対策もして欲しい
です。

子どもが家にいると
きは、日中どう遊ばせ
ようか悩みます。

いつもはダリヤ園や
少し遠くの公園、屋内
施設に行くのですが、
近場に、安全で楽しく
遊べる場所ができれば、
とても良いなと思い
ます。

元気に育てていくた
めにも、ハード面やソ
フト面の充実した川西
町になってほしいと思
います。

編集の後で

百尺竿頭進一歩

▼3月定例会は、新年
度の予算・事業計画は、
町民の負託を受けどの
ように審議をしたか、
それを議会だよりとし
てわかりやすく伝える
努力をしています▼ま
た、町民各位からの協
力も得、記事や写真で
出ていただいて、非常
に感謝しています▼現
状に満足することなく
さらなる一歩を踏み出
し、町民に愛される議
会だよりを目指してい
きます。(すすむ)

- | | |
|------------|-------|
| 発行責任者 | 加藤 俊一 |
| 委員長 | 伊藤 寿郎 |
| 副委員長 | 遠藤 明子 |
| 委員 | 鈴木 幸廣 |
| 同 | 伊藤 進 |
| 同 | 渡部 秀一 |
| 同 | 井上 晃一 |
| アドバイザー(文章) | 金子 勤 |
| 同 | 佐々木賢一 |
| 同 | 遠藤 勝則 |
| アドバイザー(写真) | 青木 督平 |
| 同 | 山田 順一 |